

ホホバ 頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

夏の日差しがジリジリと肌を刺すこの時期、オゾン層の破壊によって、年々地上に降り注ぐ紫外線量は増加していますので、日傘や長袖の服などで、できるだけ紫外線に肌を晒さない努力が必要です。

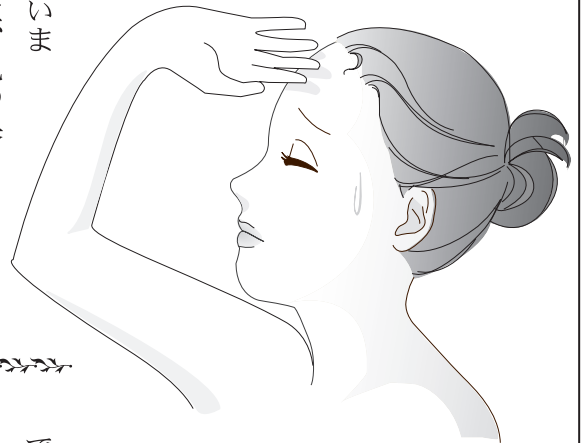
美容だけでなく、健康のために、ご家族皆様の紫外線対策を見直してみましよう。

「紫外線は浴びない」 は、今や常識

夏は小麦色に焼けた肌が健康的で良いと、サンオイルを塗ってこんがり日焼けをする・・・そんな事が普通に行われていたのはもう一時代前。

今や、こどもから大人まで、紫外線対策は常識の時代となりました。

一昔前は、紫外線といえば、肌の表面を焼いて小麦色に日焼けさせるもの、



と考えられています

したが、最近では、肌の奥

まで届いて肌を老化させる光老化や、メラニンの蓄積やダメージによる皮膚がんのリスク等、美容の問題だけではなく、重要な問題となっています。

男性用の日傘が 人気商品に

ここ数年、温暖化の影響か、毎年気温が高くなって真夏日が続く事が多くなっている事もあって、通勤や外出時、

強い日差しに体力を奪われてしまう中年以降の男性の間で、日傘を持つ方が増えてきています。

女性のように美白を目指している訳ではないけれど、紫外線の光老化で老け込むのは嫌、というのは男性も同じ事。老若男女を問わず、ご家族みんなでの紫外線対策をおすすめします。

毎日の気遣いが 十年後の大きな差に

運転中や徒歩で移動中の日差しや、日傘を使ったり帽子をかぶったりしても浴びてしまう、下からの照り返し。

外出しなくても、日差しの届く室内や、毎朝のゴミ捨ての時のほんの短い時間・・・そんな疎かにしがちな部分も、一度見直してみましよう。

夏のお肌をしっかり守る

今日から始める紫外線対策!!

毎日の紫外線をどのくらい浴びてしまうかで、お肌の老化速度は大きく変わります。オゾン層の破壊によって、降り注ぐ紫外線の量は年々増加していますから、もう一度、UVケアを見直して、男性やお子様のUVケアにも気を配って、家族の健康を守りましょう。



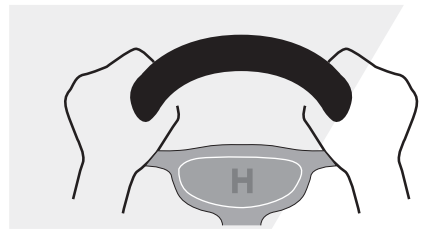
◆運転中の日差しで右側にだけシミが!!

顔も手も、右側だけに(または左側)シミが多い、という事はありませんか?それは、車の運転中(又は乗車中)に浴びてしまった紫外線が原因。

長袖を着たり、UVカットのロング手袋や、窓ガラスにUVカットのコーティングをするシート等も取り入れると良いでしょう。

◆照り返しで紫外線は下からも!!

日差しの強い日中は、日傘をさしていても、アスファルトの照り返しで紫外線を浴びてしまいます。日陰にいるから、日傘があるから、と過信せず、必ず日焼け止めと併用する様にしましょう。



◆洗濯物や布団干しで気付いたら首・背中が!!



白人女性に多い、背中一面のソバカスのようなシミも、原因は紫外線の仕業。

特別、海で焼いたりしていなくても、洗濯物や布団干しなどで、少しの時間でも毎日浴び続けてしまった蓄積でも起こります。

気がついたら背中がシミだらけ、という事にならない様、普段から気をつけたい所です。